

# つくる フォーラム

## 事業概要および「京博ブランド」応募要領

12月5日(土)京博・公開打ち合わせ申込開始：平成27年11月20日(金)～11月30日(月)

**書類審査 募集期間：平成27年11月20日(金)～12月25日(金)**

**書類審査 選考通過者へのご連絡：1月15日(金)までに行います**

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。(頂いた書類は返送いたしません。ご了承ください)

書類送付先：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・京博係」  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

## 事業概要

### 1. つくるフォーラムとは？(事業の趣旨)

「使う目的を明らかに」した様々な「つくる」公募を行うことで、ものづくりの活性化を促す、21世紀的つくり手支援のかたちです。

いままで水面下で行われてきた「お誂え」を、公募し「公開お誂え＝現代の御用達をつくるコンペティション」とし、社会が開かれたものづくりを行っていくことを推進するプロジェクトです。

良きつくり手に、「実際に使う場がイメージできる」ものづくりの場、そして、よき使い手とよき繋ぎ手と協働し、対話しながらものづくりを行う場を提供します。

お誂えをしたい使い手にとっては、発注したくてもこちらの条件を満たしつつ想像力溢れる名品を生むつくり手に出会う機会は、限られています。つくり手にとっても、条件はあるものの単なるOEMではなく、自由な発想を汲み取ってくれ、創造を共に楽しむ発注者に出会う機会は、限られています。

つくるフォーラムでは、発注者がはっきりしている、販売先が確保されているというアドバンテージがあります。これまでの公的な支援体制では、作ってしまってから見本市に出して買い手を探すシステムが多く、せっかく良品を生み出しても販売に直結しにくいことが難点でした。つくるフォーラムではその弱点を乗り越え、つくり手には販売の心配が不要の良質な案件だけを扱います。現代の御用達となるクリエイターを公開募集するプロジェクトです。

## 2. 京博における「つくるフォーラム」説明会について

各公募案件の趣旨・希望する内容の説明会を2015年12月5日(土)※休館日  
京都国立博物館・平成知新館 講堂&グランドロビー にて行います。

募集者が何をイメージし、どんな創作を求めているか。募集者となる企業各社から、直接説明申し上げ、募集を呼びかけます。この日は休館日のため入館には事前申請が必要ですので、WEBでの参加申し込みをしてください。なお、この説明会に参加されなくても、書類送付だけでも応募できます。応募書類の募集締め切りは12月25日です。

### 12月5日(土)京都国立博物館における つくるフォーラム公募説明会 について

11時～12時 講堂にて、募集者となる企業が趣旨と概要説明を行います。休館日のため入館には事前申請が必要ですので、WEBでの申し込みをしてください。応募の意思のない一般観覧者のご参加も大歓迎です。

13時～14時 グランドロビーに設置された各案件ブースにて質疑応答。15分入れ替え制。

14時～16時 各ブースにて、事前に応募書類をいただいた方のうち、希望者には個別打合せを行います。ポートフォリオをご持参いただき、御一人御一人ごとに打合せ時間を組むことが出来ます。

## 3. 応募できる人と 審査費用

審査費用は無料です。案件ごとに設置された目的により地域や年齢などの諸条件はありますが、良い作品を広く募集するのが目的ですので、作家、職人、工房、メーカー、プロダクトデザイナー、コーディネーター、スタイリスト、バイヤー、問屋さんなどものづくりにかかわる人ならだれでも応募できます。

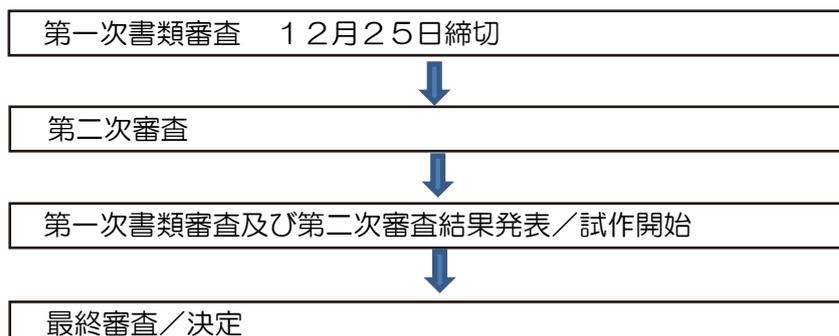
募集者の希望する品物の意図を汲み取り、それに合致するものを応募してください。募集者と募集者の定める審査員により、審査され採用されます。「職人+プロダクトデザイナーチーム」「メーカー+コーディネーターチーム」などチームを組んでのご応募も期待します。

## 4. 採用の方針

募集者の意向によって、審査され採用が決定します。品物の募集要件をよく読んで、募集者が望んでいる品物を理解し、適切にご応募ください。

第一次審査の審査団は各案件毎、10名の工芸有識者(非公開)が参加します。

## 5. 審査の流れ



## 6. 応募者の提出物等

### 第一次書類審査 2015年12月25日締切

<提出するもの 応募フォームのみ>

- ・応募フォームには、
  - a. 氏名
  - b. 連絡先（住所、電話、Fax、メールアドレス）
  - c. これまでの代表作の写真をフォームの貼り付け欄に貼付ください。
  - d. 応募する製品のエスキスあるいは応募したい実物がある場合にはその写真も貼り付け欄に貼付ください。
  - e. 応募した製品の概要。コンセプト、仕組み etc. について記載ください。
  - f. 制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があれば、記載ください。

### 第二次審査（書類審査通過者が受ける審査）

<提出するもの 詳細エスキスと参考作品>

- ・書類審査通過者に、求められるスペックなどをお伝えしますので詳細なエスキスをお送り頂きます。
- ・ご提出いただくエスキスの参考になる作品があればお送りください。
- ・応募費用、出品料は無料です。
- ・参考作品の送料は、応募者各自でご負担ください。
- ・輸送、審査中の破損については、責任を負いかねますので予めご了承のうえご応募ください。
- ・事前に事務局あてに送付内容をお知らせください。
- ・審査終了後、返送する費用は主催者で負担いたします。

### 試作

- ・書類審査、第二次審査の結果を皆さんへ通知します。
- ・通過者には、試作をしてもらう場合があります。
- ・試作をしても万が一採用されなかった場合、試作品コスト（請求による。上限2万円。競争率により減額の可能性があります。）が支払われる予定です。

### 最終審査

- ・採用数は一人～複数、案件ごとに異なります。

## 7. 注意事項

- ・活動歴が少ない方には、制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があると採用可能性が高まります。
- ・応募された書類はお返ししません。
- ・応募は無料です。

## 8. 採用作品について

次年度の東京における「21世紀鷹峯フォーラム」時期に行われる「つくるフォーラム」説明会（東京/京都・二会場開催予定）において、どのようなプロセスでのものづくりであったか、紹介展示されます。

次年度は、東京で行われる「21世紀鷹峯フォーラム」。その年には東京、京都の二会場で説明会を行います。次次年度は金沢。その年には金沢、東京、京都の三会場で説明会を実施します。その都度、過去のつくるフォーラムでどのような事例があったかが、紹介されます。

## 9. 審査結果発表

審査日程は案件ごとに異なります。各案件の募集要領をご確認ください。

なお、第一次審査時は採用者にのみ期限内に連絡、書類返送はいたしません。第二次審査以降は、採用不採用のご連絡をいたします。第二次審査の作品送付先・期限につきましても案件ごとになりますので、必ずご確認ください。

## 10. 総合監修プロデューサー



東京都美術館「TOKYO CRAFTS & DESIGN」（プロジェクトが2013年グッドデザイン賞を受賞）を推進された川越仁恵氏が本プロジェクトの総合監修を担当されます。

日本経済大学経営学部専任講師。専門は工芸技術史、在来産業論。研究成果を社会に役立つプロジェクトとして変換、各地で職人の相談にのり共に解決を目指している。東京の伝統工芸職人 × デザイナーのコラボレーションによって新作工芸品を生み出すプロジェクト TOKYO CRAFTS&DESIGN を企画し、2013年度グッドデザイン賞を受賞。

2012年ものづくりフォーラム（経済産業省主催）ジェネラルコーディネーター

日本金銀創作展（東京銀器組合主催）審査員 / 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞（東京都中小企業振興公社主催）審査員 / 新潟市漆器同業組合（国指定伝統的工芸品「新潟漆器」）アドバイザー / 与板打刃物匠会（国指定伝統的工芸品「越後与板打刃物」）クリエイティブ・プロデューサー

## 1. 募集内容について

「京博ブランド」として世界を魅了できる、日本工芸の粋を募集します。  
第一回募集は「携帯用ミントケース＝現代の印籠・振出・薬入れ」  
光悦の時代にミントタブレットが流行っていたなら、どんなミントケース  
を創りだしただろう。遊び溢れる作品を大募集。

### ①用途／使用シーン

- ・和装に合わせたミントケースであること。着物の帯の内側にはさんで携帯することができる大きさとカタチを考えてください。はさむと帯の圧力でゴロゴロして痛いことのないように、厚さ 12mm 程度までで狭い隙間に薄くフィットし、邪魔にならない形状が期待されます。和装を基本としつつさらに洋装にも持てるデザインであるとなお良く、スーツの内ポケットに入れて持ち歩くシーンも想定しています。
- ・女性向けと男性向けのどちらも募集。男女共用でもよい。
- ・簡便に中身を取り出すことができる仕組みを持つこと。
- ・根付を付けたい人があとからつけられるよう、紐を通せる「紐掛かり」のあるもの。

### ②期待する応募作

- ・工芸の全ジャンルにわたり意欲的な提案を求めます。漆、木工、竹工、金工、陶磁器、染織、皮細工も勿論、ガラス製のプランにも期待します。
- ・国内外を魅了できるものを期待します。後頁掲載「京博ブランドに求められるものとは」には、求められる技術の水準を示しています。
- ・着物と一緒に身につけて出かけ、取り出して友達に見せたい、手元に置いて眺めたい、コレクティブなミントケースです。

### ③審査を受ける際の注意

本募集の第一次審査を通過したあと、第二次審査に進んだ人は、

- A) 年間制作数が多くできるもの
- B) 作れる数が少なく技巧を凝らしたもの

の二つの案を記した書類を改めて作成し、提出していただきます。

今回公募によって製作したアイテムは、京都国立博物館文化財保護基金アイテムとなり、その売上の一部は、京都国立博物館文化財保護基金への寄附金となります。

## 2. 応募条件

京都国立博物館のシンボルアイテムとしてふさわしいものを提案する意欲があること。個人、工房、メーカー等、規模も問いません。しかし下記の条件を満たす提案をいただく必要があります。

①採用作品は、京都国立博物館文化財保護基金グッズとなるため、**未発表のもの**（既出でも販売されていない）に限られます。採用された採用作品は1年間契約により当方を通じての販売に限られます。販売場所は、京都国立博物館ミュージアムショップ、および、国内著名百貨店が年間を通じて展開を予定しています。

②第二次審査において、プランをお示し頂く際、工芸において曖昧な「倣」や「意匠作成者」「着想に当たり利用した図版」を明示いただくこと、および「各プロセスの制作者」を記載いただき応募いただく必要があります。内容は勿論非公開とします。審査プロセスをシンプルにする目的です。

## 3. 京都国立博物館文化財保護基金について

2012年4月、京都国立博物館では「京都国立博物館」文化財保護基金を設立しました。

今回「京博ブランド」募集に際しましては、その設立趣旨を体現するものづくりを希望しています。

古来より伝わってきた文化財はわが国の宝であるとともに、京都文化、ひいては我が国の文化そのものであり、また、我々の心のふるさとでもあります。しかし、厳しい財政状況の中、この貴重な文化財を将来にわたって守り伝えるための保護活動〈収集、保存、修理等〉に必要な資金が不足しています。こうしたことから、京都国立博物館では「京都国立博物館文化財保護基金」を創設し、この趣旨に賛同いただける方々からの寄附金で必要な資金をまかなうことにいたしました。

このたび採用される作品が、文化財保護に寄与する役割を果たします。

現代のつくり手、その良質なものづくりを求める方々、そして文化財を護ることに参加する意識が、重なり響きあうことを期待しています。

## 4. 12月5日（土）公募説明会について

公募説明会において、より具体的なイメージをお知らせします。公募説明会に参加される場合は、当日は休館日ですので、事前の参加申し込みを必ずお願いいたします。

京都国立博物館・平成知新館にて、12月5日（土）

11時～12時 講堂にて、募集者が趣旨と概要説明を行います（対象：WEBで参加申込みのあった方）

13時～14時 グランドロビー各ブースにて 15分刻み・グループで質疑応答（対象：〃）

14時～16時 各ブースにて、個別打合せを行います。（対象：**事前に応募書類をいただいた方のみ**）

なお、当日は京博特別講座「愛しむ工藝・誂えの歴史」と題した講演会が13時半～15時開催されています。

そちらは別のお申し込みが必要になりますのでご注意ください。

— 京都国立博物館所蔵の名品 一部紹介 —



国宝 山越阿弥陀図



国宝 天橋立図 雪舟筆



国宝 蓮池水禽図  
俵屋宗達筆



重要文化財 鶴下絵三十六歌仙和歌巻  
俵屋宗達画・本阿弥光悦書

掌中の美

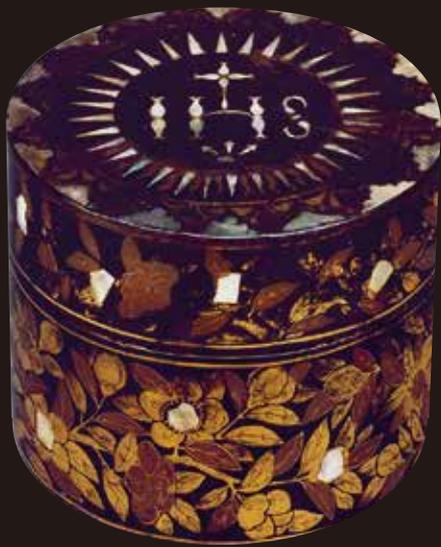
祈りを超える  
ものへのいつくしみ



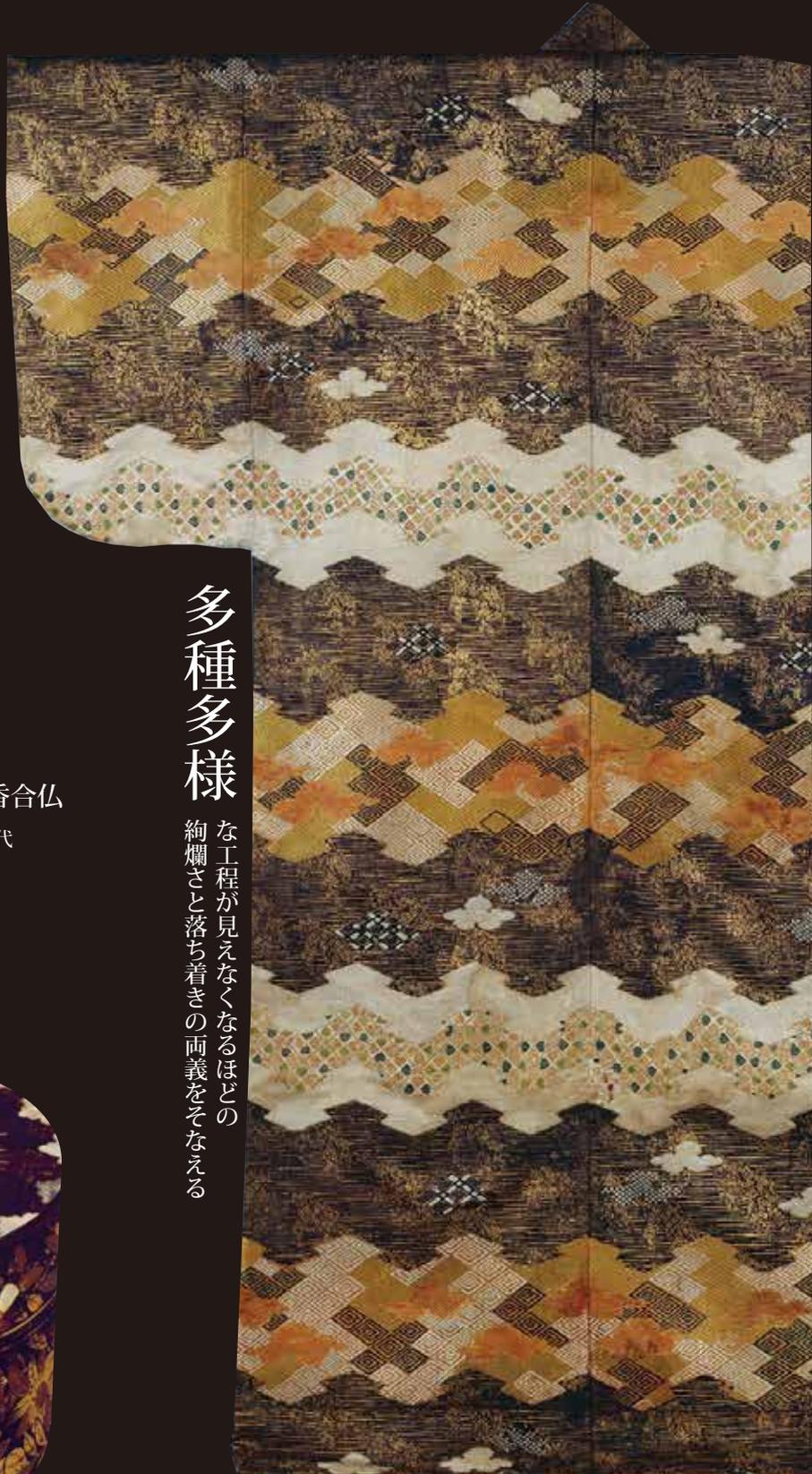
千手観音香合仏  
平安～鎌倉時代

技巧

がつくされているにもかかわらず  
現代に見てもシンプルにも見えるもの



IHS 椿時絵螺鈿聖餅箱  
桃山時代



多種多様

な工程が見えなくなるほどの  
絢爛さと落ち着きの両義をそなえる

重要文化財松皮菱段小文様小袖  
桃山～江戸時代

## 6. 京博ブランド 応募方法、公募説明会について、実施スケジュール

### 応募方法

---

2015年12月1日(火) 郵送による応募エントリー受付開始

2015年12月25日(金) 受付終了

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入いただき、写真添付のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。

なお、お送り頂いた書類は返送いたしません。ご了承下さい。

書類送付先：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・京博係」  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

### 公募説明会の申込みについて：付記事項

---

12月5日(土) 京都国立博物館・つくるフォーラム公募説明会には、

21世紀鷹峯フォーラム <http://takagamine.jp> 上に設置された、簡易な内容の「参加申込フォーム」にてご参加いただくことができます。(11時～公募者による概要説明、13時～質疑応答に参加いただけます)

各ブースでの個別打合せは、当日ポर्टフォリオをお持ちの方に限られます。

どの募集ブースも掛け持ちで打合せ申込も可能です。

打合せの時間につきましては、当日受付で対応致しますので、

お待たせすることがありますこと何卒ご了承ください。

なお、事前にお送り頂いた応募書類につきましては、公募説明会后、締切前に内容を差し替えることは自由です。

第一次書類選考は12月25日締切、1月上旬に開催いたします。

### 実施スケジュール

---

| 時期     | 内容  | 詳細  |
|--------|---|---|
| 12月1日  | 説明会参加申込+応募フォーム オープン 受付開始  | <a href="http://takagamine.jp">http://takagamine.jp</a> |
| 12月5日  | 【公募説明会 at 京博】開催—募集者による内容説明と、個別打合せ   | 京都国立博物館 平成知新館   |
| 12月25日 | 応募フォーム 郵送締切 受付終了  |   |
| 1月前半   | 【第一次書類審査】 応募フォームによる審査<br>募集窓口となる繋ぎ手、総括アドバイザー川越仁恵氏、<br>外部審査員を迎え、10人の工芸有識者による選考を行います。 |   |
| 1月15日  | 選考後、第二次審査に進む方にご連絡いたします  |   |
| 2月中旬   | 【第二次審査】 詳細エスキスと参考作品による審査  |   |
| 2月下旬   | 第二次審査通過者に連絡、作品試作に入ります   |   |
| 5月中旬   | 【最終審査】 試作品による審査<br>京都国立博物館文化財保護基金プロジェクト委員会による<br>審査・採用品決定                           |   |
| 11月    | 京都国立博物館 ほかにて販売を開始   |   |
| 12月—1月 | 21世紀鷹峯フォーラム・東京にて採用品の制作の流れを紹介  |   |

本件に関するお問い合わせは：COJ [info@thecreationofjapan.or.jp](mailto:info@thecreationofjapan.or.jp) 岩関・鈴木

応募者名（会社名 / ブランド名 / 担当者名）

ふりがな

連絡先（〒 / 住所 / 電話番号 / FAX / MAIL / URL）

ふりがな

〒

TEL:

FAX:

URL:

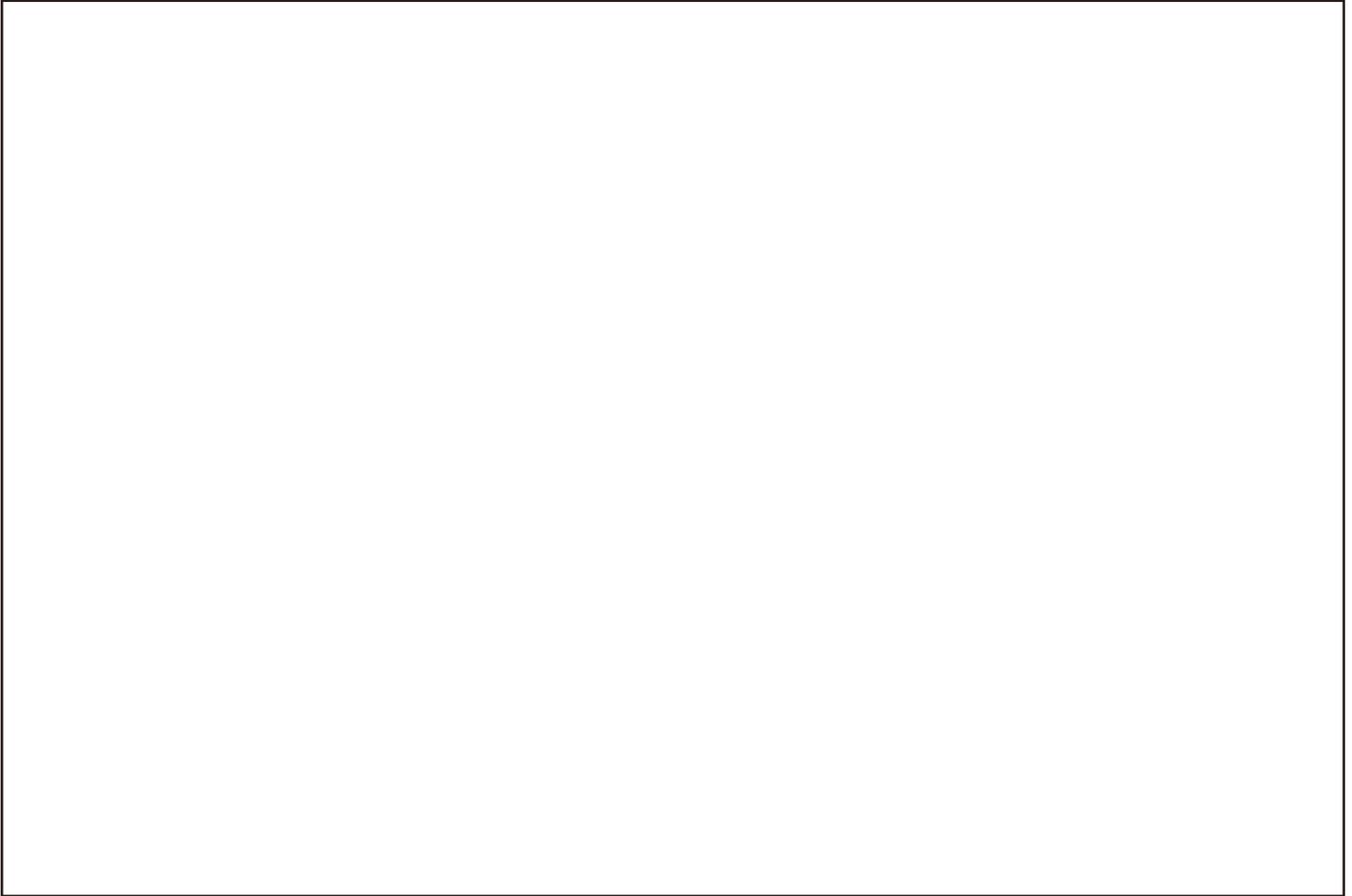
MAIL:

【活動と商品の概要、履歴等ご記入ください】

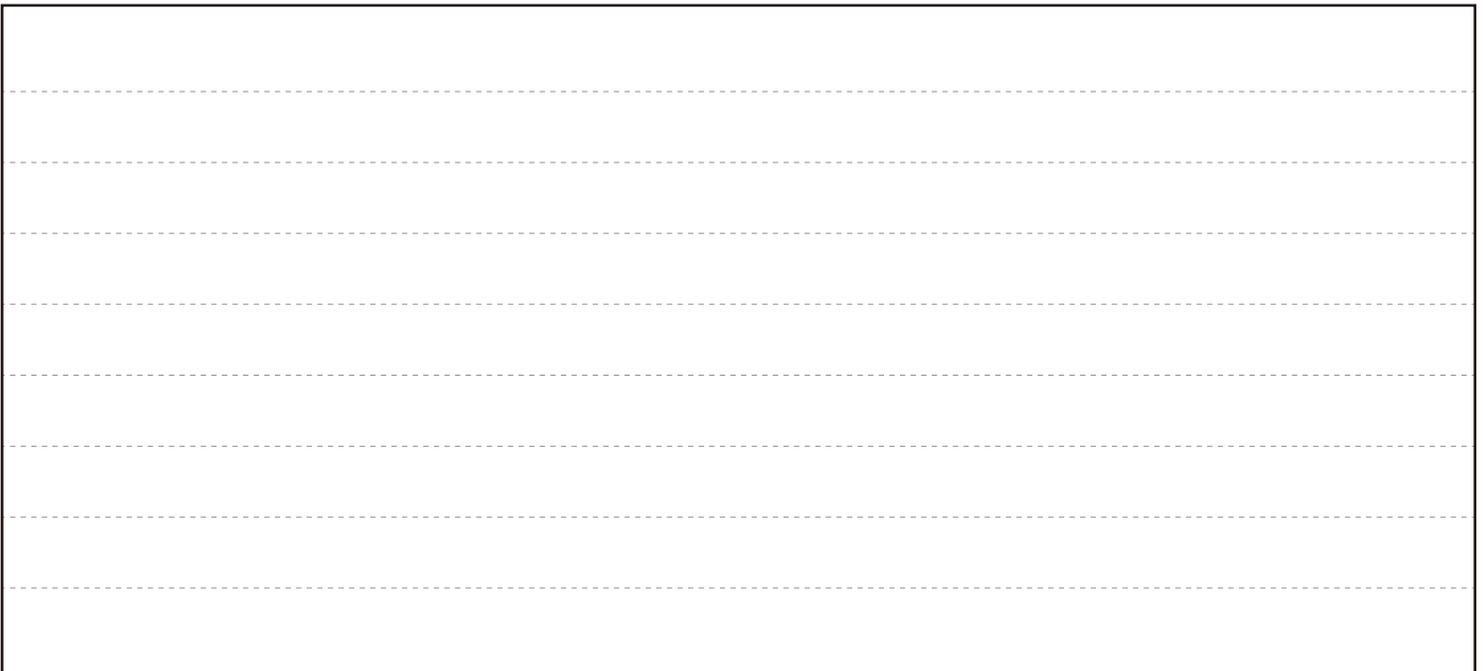
【これまでの代表作の写真を貼付ください】

写真貼付欄

【応募する製品のエスキスあるいは応募したい実物がある場合はその写真を貼り付けてください】



【応募する製品の概要、コンセプト、仕組み etc. について記載ください】



※活動履歴の少ない応募者の場合 推薦者

※実際の仕事を完遂できると推薦する理由をご記入ください

